

9  
T.  
9  
T.  
9  
T.  
9  
T.

9  
T.  
9  
T.  
9  
T.  
9  
T.

4  
3

ステ仮名使用

新聞小説史への期待

新 浪 木 樹

新聞小説についての研究は極めて少い。か  
つて蛭原八郎氏が東大の明治新聞雑誌文庫に  
あって新聞小説年表を作製し、新聞小説略史  
を書いたのが唯一の信頼すべき文献として、  
史家や座右にあるくらいである。しかし明治  
大正の文学の有力な発表舞台は新聞であった。  
通俗小説ばかりでなく、価値高い純文学も新

聞に発表されたから、新聞小説史の総合的叙  
述は早くから要望されていた。生粹の新聞人  
であり、(見識)の高い評論家である高木健夫氏  
が畢生の事業として新聞小説史の研究にうち  
こまか、五カ年の歳月を費して、その第一巻  
を世に問われるときいて、ようやく多年の要  
望がみたされることになつた。喜ばれる。

三友の紙上に連載されてゐる高木氏の新  
聞小説史の粗稿を拜見すると、新聞小説は小  
説にして小説にあらずと、新聞はテパート

三三友

No.

No.